

VG概輪だより

会報 第203号
発行日 令和3年8月1日
発行・編集 VG概輪
代表者 大岡成一
<http://web1.ibj.co.jp/~kirin>

わがまち紹介

西国街道の芥川宿場町からJT生命誌研究館へ
高槻市紫町

「生きている」を見つめ「生きる」を考えよう!!

当日は、猛暑の梅雨の晴れの日、コロナの予防接種時期でしたが、多くの方に参加していただきました。

蒸し暑い天気だったので、西国街道の案内は別の機会にし、直接「JT生命誌研究館」へ行くことにしました。

JT生命誌研究館では、スタッフの「藤原正子先生」・「渡辺喜美子先生」などが外まで出て、迎えて下さいました。



JT生命誌研究館玄関

入館して検温と手の消毒をし、準備して頂いていた1階カンファレンス・ルームに入りまし

藤原正子先生から、JT生命誌研究館の各種映像を活用して概要説明をして頂きました。

この館の入り口、館銘板に「科学のコンサートホール」と掲示されています。



38億年の生命誌の階段

「展示ホールは、研究から見えてきた生きものの世界を楽しむ場です。楽譜を見るだけでは音楽を楽しめないのと同じように論文では科学を楽しめません。正確に、楽しく表現した展示を通して「生きているってどういうこと？」かを感じ考え、語り合います。」

前回は、平成17年7月に訪問していただきますが、展示の中心が深く理解に時間を要しました。

今回は、会員も入れ替わり、初めての訪問者が多く、暑い時期とコロナの問題があるので2時間で計画し、JT生命誌研究館の研究員の中井彩香先生に色々お心配をお願いしました。

2時間と短い時間でしたが、藤原雅子先生と渡辺貴美子先生に付ききりで説明して頂き、この生命という難しい問題が少し理解できたような気がします。



DNAの模型の前で構造や働きの説明を聞く

本当に丁寧なわかり易く説明していただき有難う御座いました。

そのような研究とその表現を通して、38億年の歴史をもつ生きものの中にある知恵を、私たちが日常をおくる社会に生かしていくための、新しい知の構築に努めています。



食草園で 生物学者達は 何を見つけたのか？

JT生命誌研究館では、「生きている」とはどういうことか」という問いに向き合い「38億年という長大な歴史をもつ生きもののつながりの中間」を考えています。活動の基本は、細胞がもつゲノムから発生・進化・生態系を読み解く生きもの研究です。

JT生命誌研究館は、活動を大切にしています。JT生命誌研究館は、すべての人に開かれ、すべての人に参加を求める、「生きている」を考える場です。この文面は、JT生命誌研究館のホームページに記載されています。

今年7月からは、毎週日曜にも開館されておられ、又特別企画展も計画されています。



生命誌絵巻の前で記念写真

2021年8月度行事予定

時代と共に発展して来た企業の城下まち：門真市
「パナソニックミュージアム」訪問

日：2021年8月5日(木)
場所：大阪モノレール 門真駅 集合
内容：松下幸之助歴史館・ものづくりイズム館見学
その他：1) 雨天決行。
2) 詳細は別途配布資料をご参照下さい。

2021年9月度行事予定

古代から歴史ある「まち」：高槻市宮田町
創業100年以上の信用を第一にする「西島製作所」

日：2021年9月16日(木)
場所：JR 富田駅 改札出口 集合
内容：「西島製作所」本社工場見学
その他：1) 雨天決行。
2) 詳細は別途配布資料をご参照下さい。